

令和5年9月期 業務実績報告書（経営総務課）

一 般 事 項

1 水道料金調定関係

項 目	単位	A 当月期	B 当年度累計	C 計画累計	D 前年度同月累計	E 対計画比較	F 対前年比較
1 調定件数	件	30,325	182,260	183,100	183,174	△ 840	△ 914
2 調定水量	m ³	682,849	3,811,274	3,819,000	3,869,354	△ 7,726	△ 58,080
3 調定料金(税抜)	円	181,213,963	1,025,000,255	1,017,000,000	1,038,535,318	8,000,255	△ 13,535,063
4 口振加入件数	件	24,947	149,765	—	150,576	—	△ 811

2 下水道使用料調定関係

項 目	単位	A 当月期	B 当年度累計	C 計画累計	D 前年度同月累計	E 対計画比較	F 対前年比較
5 調定件数	件	19,088	114,417	115,232	113,382	△ 815	1,035
6 調定水量	m ³	415,404	2,331,572	2,348,200	2,365,419	△ 16,628	△ 33,847
7 調定料金(税抜)	円	65,390,257	370,264,901	374,692,000	375,469,764	△ 4,427,099	△ 5,204,863

3 給水業務関係

項 目	単位	A 当月期	B 当年度累計	C 前年度同月累計	D 対前年比較(B-C)
8 給水人口	人	73,990	—	75,368	△ 1,378
9 給水件数	件	30,140	—	30,273	△ 133
10 開栓処理件数	件	194	1,503	1,767	△ 264
11 閉栓処理件数	件	263	1,486	1,655	△ 169
12 給水工事設計審査	件	22	292	254	38
13 給水工事竣工検査	件	57	324	412	△ 88
14 経年メーター交換	件	456	1,446	2,381	△ 935
15 メーター口径変更	件	3	15	33	△ 18
16 督促状発送数	件	1,326	8,080	8,115	△ 35
17 月末停止件数	件	105	—	88	17

4 排水設備業務関係

項 目	単位	A 当月期	B 当年度累計	C 前年度同月累計	D 対前年比較(B-C)
18 排水設備工事確認申請	件	22	173	196	△ 23
19 排水設備工事完了検査	件	26	174	185	△ 11

5 水道料金徴収関係

項 目	A 当月未収額	B 収納率	C 前年同月未収額	D 収納率
20 当年度分	209,799,493円	81.39%	205,393,018円	82.02%
21 過年度分	3,825,557円	97.92%	3,618,746円	98.07%
22 計	213,625,050円	-	209,011,764円	-

6 下水道使用料徴収関係

項 目	A 当月未収額	B 収納率	C 前年同月未収額	D 収納率
23 当年度分	86,443,093円	78.78%	83,227,500円	79.87%
24 過年度分	825,008円	98.92%	715,670円	99.09%
25 計	87,268,101円	-	83,943,170円	-

7 受益者分(負) 担金徴収関係

項 目	A 当月未収額	B 収納率	C 前年同月未収額	D 収納率
26 当年度分	5,262,900円	81.31%	5,362,420円	85.70%
27 過年度分	1,293,900円	25.71%	1,947,200円	11.92%
28 計	6,556,800円	-	7,309,620円	-

登米市 水道・下水道事業キャラクター



スイちゃん ジョーくん 水守(みもる)さん

特 記 事 項

1. 9月期の経営状況

(1) 予算執行状況等について

・上水道事業

ア 収益的収支

当期の給水収益は199,335千円(税込)で、前月期に比べて6,540千円の増、対前年同月比では3,479千円の増となっています。営業収益は200,036千円、営業外収益は事務手数料や雑収益など5,099千円となりました。

当期の営業費用は委託料や動力費など90,319千円、営業外費用は企業債利息として48,872千円、特別損失は50千円を執行しました。

イ 資本的収支

当期の収入は、加入金や補償金など1,228千円の執行となりました。支出は、建設改良費として機器整備費や調査設計費など19,729千円、企業債償還金として243,060千円を執行しました。

・下水道事業

ア 収益的収支

当期の下水道使用料は71,897千円(税込)で、前月期に比べて2,771千円の増、対前年同月比では366千円の増となっています。営業収益は71,941千円、営業外収益は、他会計補助金など418,006千円を執行しました。

当期の営業費用は委託料や動力費など80,349千円、営業外費用は企業債利息として120,746千円を執行しました。

イ 資本的収支

当期の収入は、他会計出資金や受益者負担金・分担金として270,459千円となりました。支出は、建設改良費として工事請負費や事務費など37,536千円、企業債償還金として708,778千円を執行しました。

2. 今月の出来事

(1) 登米市議会定例会9月定期議会について

9月7日(木)に令和5年登米市議会定例会9月定期議会が開会し、上下水道部では、「令和5年度登米市水道事業会計補正予算(第1号)」、「令和5年度登米市下水道事業会計補正予算(第1号)」、「令和4年度登米市水道事業会計決算認定について」及び「令和4年度登米市下水道事業会計決算認定について」の4件を提案しました。

補正予算については原案のとおり可決され、決算についても、原案のとおり認定されました。

(2) 総務企画常任委員会・予算決算常任委員会総務企画分科会について

9月15日(金)及び26日(火)に総務企画常任委員会・予算決算常任委員会総務企画分科会が開催されました。

15日には、水道事業会計補正予算(第1号)及び下水道事業会計補正予算(第1号)について審議が行われました。

水道事業会計補正予算(第1号)については、令和5年10月分からの水道料金改定に伴う収益的収入及び支出の補正、浄水施設機器更新に係る資本的収入及び支出の補正を行ったものです。

下水道事業補正予算(第1号)については、令和5年10月分からの下水道使用料改定に伴う収益的収入及び支出の補正、農業集落排水機能強化事業に係る資本的収入及び支出の補正を行ったものです。

26日には、令和4年度登米市水道事業会計決算認定及び令和4年度登米市下水道事業会計決算認定について審議が行われました。

令和4年度水道事業決算について、主な収入である給水収益は、給水人口の減少や節水機器の普及などにより前年度から2,228万円減少するなど、当年度純利益も5,243万円の損失で、前年度の純利益から7,527万円ほど減少となった旨報告しました。

令和4年度下水道事業決算について、主な収入である下水道使用料は、節水機器の普及などによる水量の減少により前年度から135万円ほど減少するなど、当年度純利益は5,068万円となり、前年度と比べて6,595万円ほど減少となった旨報告しました。



【総務企画分科会の様子】

令和5年9月期 業務実績報告書（水道施設課・下水道施設課）

水道施設課

経営分析の状況

◎ 配水量の状況

(単位: m³)

項目	当月実績 (A)	実績累計 (B)	計画累計 (C)	前年累計 (D)	比較 (E)	
					対計画 (B)-(C)	対前年度 (B)-(D)
総取水量	817,140	4,970,414	4,765,870	5,025,109	204,544	△ 54,695
総配水量	757,518	4,632,449	4,454,100	4,733,656	178,349	△ 101,207
1 有効水量	726,817	4,029,824	4,013,970	4,189,434	15,854	△ 159,610
(1) 有収水量	687,298	3,837,943	3,845,400	3,895,965	△ 7,457	△ 58,022
(2) 無収水量	39,519	191,881	168,570	293,469	23,311	△ 101,588
2 無効水量	30,701	602,625	440,130	544,222	162,495	58,403
(1) 漏水量	29,752	599,911	436,380	535,028	163,531	64,883
(2) その他無効水量	949	2,714	3,750	9,194	△ 1,036	△ 6,480
3 有収率	90.73%	82.85%	86.33%	82.30%	△3.48%	0.55%

※ 当月期の最大配水量は、9月11日(月)に記録した【26,575m³】です。

◎ 主要な建設改良事業の状況

(単位: 件・千円)

主要な建設改良事業	予算 (A)		施工中 (B)		竣工 (C)		残額 (D) (A)-(B+C)	執行率
	件数	金額	件数	金額	件数	金額		
取水施設整備事業	1	11,000	1	9,988	0	0	1,012	90.8%
浄水施設整備事業	9	196,185	8	96,650	1	198	99,337	49.4%
配給水施設整備事業	57	1,294,397	16	416,642	5	45,357	832,398	35.7%

※ 件数及び金額は、工事十委託(事務費・人件費含む)の合計です。

特記事項

1 保呂羽浄水場1号沈殿池の清掃作業を実施

9月6日(水)、保呂羽浄水場の1号沈殿池の清掃作業を行いました。

この清掃作業は、沈殿池に汚泥が多く堆積すると、水処理に影響を及ぼすことから、定期的に行っているものです。

なお、この作業は、年3回行っています。



【1号沈殿池清掃作業の様子】

2 上半期の漏水調査結果について

有収率向上対策のため、配水施設等維持管理業務受託者により漏水調査を実施しています。9月末の漏水調査結果は、累計で102件152.968m³/hの漏水を発見し、有収率は82.85%となっています。前年度と比較して0.55ポイント高くなっています。

また、漏水調査発見件数102件中55件はVP管(塩化ビニル管)からの漏水でした。

今後は、夜間最小流量を注視しながら、流量の多い地区を細分化して、流量測定を行い漏水区域の絞り込みを行って、漏水箇所を特定し、早期に修理を行い、有収率の向上に努めてまいります。

◎ 漏水調査結果について

漏水調査結果	施設	件数	漏水量 (m ³ /h)
付属施設	0	0.000	
給水装置	10	16.120	
計	19	31.320	

【漏水調査結果: 9月】

※参考: 漏水量削減効果 (金額換算)
約217,148円/日当たり

算定: R4年度給水原価 287.05円
累計漏水量 31.520m³/h
31.520m³/h×24h×287.05円

下水道施設課

経営分析の状況

◎ 処理水量の状況

(単位: m³)

項目	当月実績 (A)	実績累計 (B)	前年累計 (C)	比較 (D) 対前年度 (B)-(C)	備考
特定環境保全公共下水道	51,342	312,558	284,091	28,467	3処理場
米谷・錦織処理区	10,799	65,371	58,112	7,259	
豊里処理区	29,344	180,588	165,557	15,031	
津山処理区	11,199	66,599	60,422	6,177	
流域関連特定環境保全公共下水道(石越)	13,614	74,225	63,273	10,952	
農業集落排水	105,587.7	687,659	625,724	61,935	24処理場
迫地区	7,949.4	51,614.0	50,199.6	1,414.4	
東和地区	2,700.0	16,935.2	14,997.4	1,937.8	
中田地区	30,137.0	191,460.7	135,960.9	55,499.8	
豊里地区	1,892.4	11,790.8	10,434.8	1,356.0	
米山地区	43,931.8	295,862.7	305,031.6	△ 9,168.9	
南方地区	18,977.1	119,995.7	109,099.5	10,896.2	R5.4.1時点
浄化槽(特地・個排)	47,878	264,087	214,404	49,683	2,099基
合計	473,314	2,961,045	2,697,053	263,992	

※流域関連特定環境保全公共下水道及び浄化槽については有収水量を記載。

◎ 主要な建設改良事業の状況

(単位: 件・千円)

主要な建設改良事業	予算 (A)		施工中 (B)		竣工 (C)		残額 (D) (A)-(B+C)	執行率
	件数	金額	件数	金額	件数	金額		
管路整備事業	10	367,909	5	5,214	0	107,078	255,617	30.5%
ポンプ施設整備事業	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
処理施設整備事業	85	300,390	28	28,094	15	156,311	115,985	61.4%

※金額は、工事十委託(事務費・人件費含む)の合計金額を記載。件数は、更新工事を除いた件数を記載。

特記事項

1 下水汚泥の放射性物質測定の実施

公共下水道処理施設4か所及び農業集落排水処理施設24か所から試料採取した汚泥について、放射性物質の測定を行いました。

この測定は、「平成二十三年三月十一日に発生した東北地方太平洋沖地震に伴う原子力発電所の事故により放出された放射性物質による環境の汚染への対処に関する特別措置法」に基づき、各処理施設から搬出される汚泥中の放射性物質濃度を測定するもので、今年度についても2回実施する予定です。今回1回目の測定を実施したところ、汚泥中からの放射性物質の検出はありませんでした。

2 佐沼環境浄化センターの改築に伴う実施設計業務の完了

9月期、佐沼環境浄化センターの1系水処理施設の改築に伴う電気及び機械設備の実実施設計業務が完了しました。この業務は、供用開始時より稼働している施設の老朽化が進んでいることから、平成30年度に策定した登米市ストックマネジメント計画に基づき、水処理施設を対象とした施設の再構築を行うためのもので、現在実施中の2系水処理施設の改築に続き、1系水処理施設の改築を行うための実施設計を行ったものです。改築工事は令和6年度～8年度までの3カ年で実施する計画となっています。

○浄化槽整備事業受付状況
(9月末現在)

予定件数	受付件数	残件数
80	50	30